

平成 22 年 2 月 3 日  
国土交通省 東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所

---

## 国道 13 号の除雪レベルとコストの検証を行う目的 で、①凍結抑制剤散布方法の変更②除雪機械の台数 変更による除雪実験を実施しています。

～安全性と作業コストの両面について検証します～

---

国道の維持管理については冬季の除雪を含め、効率的で経済的な作業が求められています。湯沢河川国道事務所では、除雪作業における除雪レベルとコストの検証を行う目的で、下記の区間で除雪実験を実施していますのでお知らせします。

①湯沢横手道路（三関 IC～湯沢 IC 間）での凍結抑制剤散布方法の変更

②国道 13 号（道の駅「おがち」～須川橋間）での除雪機械の台数変更

なお、実験にあたっては、道路利用者の方からアンケート調査によるご意見や感想も伺いながら、走行時の安全性や作業コストについて検証します。また、大雪や激しい凍結など気象条件の厳しい日は従来までの作業方法で実施します。

### ①凍結抑制剤散布方法の変更

・通常、一般道路は路面凍結の危険性の高い箇所や区間に限定して凍結抑制剤を部分的に散布しています。また、自動車専用道路では全ての区間で凍結抑制剤を散布しています。今回の実験は、自動車専用道路で部分散布を実施するものです。

・実験区間：湯沢横手道路（三関 IC～湯沢 IC までの 2 車線区間）

・実験期間：平成 22 年 2 月～3 月末まで

### ②除雪機械の台数変更

通常、国道 13 号の車道除雪のうち、新しく降った雪やその後に連続して降った雪の除雪作業は、各々 2 台の機械によって実施されます。今回はこの作業のうち、後から降った雪による路面凹凸の除去を 1 台の機械で行うものです。

・実験区間：国道 13 号（道の駅「おがち」～須川橋までの区間）

・実験期間：平成 22 年 2 月～3 月末まで

※今後、従来以上に限られた予算の中で効率的・経済的に除雪作業を行う必要があります。  
このため、今回除雪実験により除雪レベルとコストの検証を行うものです。



記者発表先：県政記者会、秋田魁新報社湯沢支局、秋田民報、県南日々新聞

### 問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

道路管理課長

酒井 宏 (さかい ひろし)

(電話 0183-73-3174 内線431)

湯沢国道維持出張所長

松井 和彦 (まつい かずひこ)

(電話 0183-72-1661)